

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2017 年第 1 週

(1/2～1/8)

12 月報合併号

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

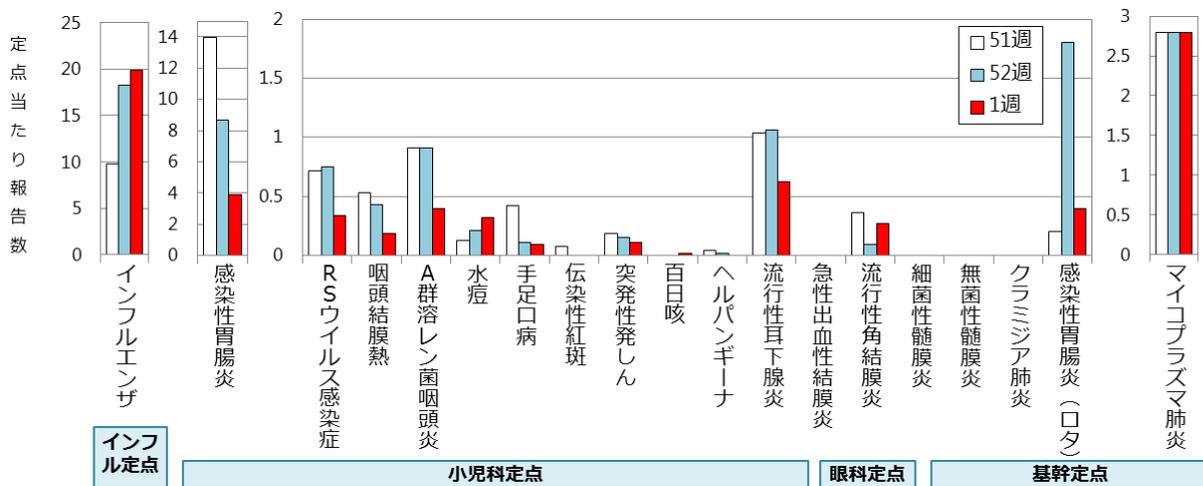
◇ インフルエンザの患者は増加し、関、東濃保健所では警報レベルの流行となっていることから、県内全域にインフルエンザ警報が発令されました。 →トピックス

■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	インフルエンザ	関（32.13）、東濃（30.38）
注意報レベル	インフルエンザ	岐阜市（24.57）、岐阜（14.71）、西濃（14.53）、可茂（17.63）、飛騨（21.30）

● 直近 3 週の比較



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 5 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：つつが虫病 1 例
- 5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、梅毒 3 例、破傷風 1 例

● 2016 年累計

1 類感染症	なし	
2 類感染症	結核	473 例
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	50 例
4 類感染症	E 型肝炎	3 例
	A 型肝炎	1 例
	つつが虫病	27 例
	デング熱	3 例
	腸チフス	1 例
5 類感染症	ボツリヌス症	1 例
	マラリア	1 例
	レジオネラ症	38 例
	アメーバ赤痢	14 例
	ウイルス性肝炎	1 例
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	9 例
	急性脳炎	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例
後天性免疫不全症候群	26 例	
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	
侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例	
侵襲性肺炎球菌感染症	47 例	
水痘（入院例に限る）	6 例	
梅毒	33 例	
播種性クリプトコックス症	4 例	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	
風しん	3 例	

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

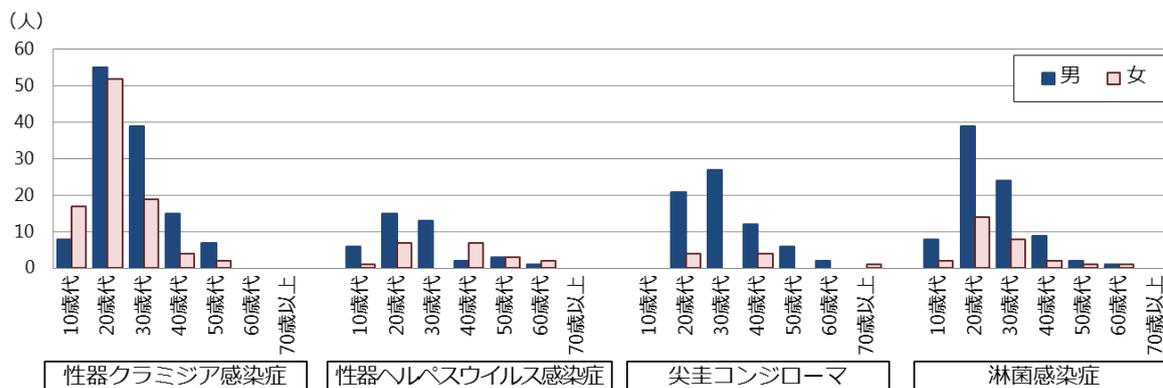
感染症発生動向調査週報（IDWR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

■月報告定点把握対象疾患 <12月>

●性感染症（STD定点：15か所）

疾患名	報告数（定点当たり）					
	12月	男	女	11月	10月	9月
性器クラミジア感染症	17 (1.13)	13	4	17 (1.13)	20 (1.33)	23 (1.53)
性器ヘルペスウイルス感染症	5 (0.33)	4	1	5 (0.33)	4 (0.27)	5 (0.33)
尖圭コンジローマ	9 (0.60)	5	4	10 (0.67)	5 (0.33)	7 (0.47)
淋菌感染症	15 (1.00)	11	4	10 (0.67)	13 (0.87)	10 (0.67)

年齢階級別報告数（2016年1月～12月）



●薬剤耐性菌感染症（基幹定点：5か所）

疾患名	12月報告数（定点当たり）	年齢群等
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	10 (2.00)	10歳未満1例、70歳以上9例
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2 (0.40)	10歳代1例、70歳以上1例
薬剤耐性緑膿菌感染症	なし	-

■病原体検出情報速報

医療機関から提出された検体の病原体検出状況（12月採取分、1月8日現在結果判明分）

臨床診断名	病原体名（遺伝子検出を含む）	検出数
インフルエンザ	インフルエンザウイルス AH3	18
RSウイルス感染症	RSウイルス	1
感染性胃腸炎	A群ロタウイルス	2
	アデノウイルス（未型別）	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264型	2
腸管出血性大腸菌感染症	<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT1&2	1
レジオネラ症	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群 1	1

※病原体検出情報の詳細についてはHPをご覧ください（毎週更新）。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/byougentai.html>

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターのHPをご覧ください。

感染症発生動向調査週報（IDWR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報（IASR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>

■トピックス

《インフルエンザ》

◆ 県内にインフルエンザ警報が発令されました

県内 87 のインフルエンザ定点医療機関からの患者報告数は、第 46 週に流行入りの目安とされる定点あたり 1 人を超えて以降増加し、第 1 週は定点あたり 19.87 人となっています。

関保健所、東濃保健所管内では定点あたり 30 人を超える流行となっていることから、1 月 12 日、県内にインフルエンザ警報が発令されました。

今シーズンの県内のインフルエンザウイルス検出状況は、検査を実施した 31 検体中、A 香港型 (AH3) が 28 件、B 型が 3 件となっており、流行入りした 46 週以降はすべて A 香港型となっています。

また、岐阜県リアルタイム感染症サーベイランスによると、第 1 週に迅速診断キットによる診断を受けた患者の 99%以上が A 型であり、現在の流行の主体は A 型 (A 香港型) であると考えられます。

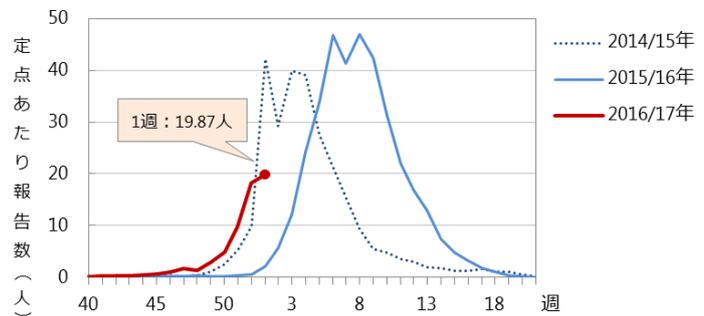
例年、A 型に遅れて B 型の流行もみられますので、今後しばらくは動向に注意し、一層の予防対策に努めることが必要です。

◆ 手洗いや咳エチケットの徹底を

基本的な予防対策としては、外出後の手洗いを励行すること、流行期には人ごみを避けること、やむを得ず人ごみに出る場合にはマスクを着用することなどが挙げられます。

また、インフルエンザの感染拡大を防止するためには、咳エチケットによる飛沫感染対策が重要となります。

インフルエンザ患者報告数 (岐阜県: 87 定点)



保健所別患者報告数 ()内は定点当たり報告数

保健所	51週	52週	1週
岐阜市	138 (9.86)	305 (21.79)	344 (24.57)
岐阜	98 (5.76)	221 (13.00)	250 (14.71)
西濃	81 (5.40)	189 (12.60)	218 (14.53)
関	65 (8.13)	188 (23.50)	257 (32.13)
可茂	135 (16.88)	100 (12.50)	141 (17.63)
東濃	90 (11.25)	224 (28.00)	243 (30.38)
恵那	48 (6.86)	66 (9.43)	63 (9.00)
飛騨	193 (19.30)	296 (29.60)	213 (21.30)
県全体	848 (9.75)	1,589 (18.26)	1,729 (19.87)

注意報レベル (定点あたり10人以上)
警報レベル (定点あたり30人以上)

★ インフルエンザとは

インフルエンザウイルスによる気道感染症で、典型的には、1~3 日間ほどの潜伏期間の後に、38℃ 以上の高熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現われ、咳、鼻汁などの上気道炎症状がこれに続き、約 1 週間の経過で軽快します。高齢者や、呼吸器、循環器、腎臓の慢性疾患患者や糖尿病患者などでは、呼吸器に二次的な細菌感染症を起こしやすく、また、小児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。

★ 感染症法における取扱い

インフルエンザは、感染症法において 5 類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約 5,000 か所 (岐阜県 87 か所) のインフルエンザ定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。(保健医療課 HP)

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/11223/kansenshouhou-kijun.html>

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>